

## ■トラブルシューティング

1. 排水口から泡が多く排出されている  
セットから数日は排水口から排出される泡の量が多い場合があります。数日様子を見てください。改善しない場合はイージーパイプで調整してください。

2. カップがすぐに薄い水で満杯になってしまう  
イージーパイプで調整しても改善しない場合、添加剤等の影響を受けている場合があります。特に粘膜保護剤や重金属を無害化する効果がある添加剤などは多くの泡が発生してしまいます。この場合、水換えて改善しますが数回繰り返す必要があります。

## 保証書

保証書		製品名	
<b>お願い</b> ※印欄は必ず販売店様にて記入捺印をいただいで下さい。			
保証の対象	本品		
保証期間	ご購入日より 1年間	ご購入日※	年 月 日
お客様※	お名前	お電話番号	
	ご住所		
販売店名※ 住所			

1. お買い上げ日から、1年間を保証期間とし、この期間内に取扱説明書・本製品注意書き等の内容に従った正しい使用状態で、故障した場合には無料修理致します。なお、製品の傷は保証の対象にはなりません。
2. 保証期間終了後、および保証期間内であっても、下記の場合は保証の対象外になります。
  - (イ) 保証書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入がない場合。
  - (ロ) 保証書の字句を書き換えられた場合。
  - (ハ) 使用上の誤り・不注意・過失による故障・破損。
  - (ニ) 不当な修理・改造および分解による故障・破損。
  - (ホ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変や公害や異常電圧による故障・破損。
  - (ヘ) 指定以外の電源（電圧・周波数）による故障。
  - (ト) 家庭以外や屋外で使用した事による故障・破損。
  - (チ) 観賞魚用水槽以外に使用された場合の故障・破損。
3. インペラ・ベアリング等は保証期間中でも保証の対象外製品です。
4. 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
6. 製品の仕様・デザインは予告なく変更することがあります。
7. 弊社からの出張修理・交換等は致しておりません。お買い上げの販売店にご相談ください。
8. いかなる場合においても、製品の仕様または使用不能から生ずる損害（生死死亡・社会的損害）等に対して弊社は一切の責任を負いません。

## ゼンスイ株式会社

本社 大阪府摂津市鳥飼本町5-1-16  
〒566-0052 TEL: 072-654-3743  
FAX: 072-654-3753

関東営業所 埼玉県北葛飾郡杉戸町杉戸1-9-20  
〒345-0036 TEL: 0480-33-2058  
FAX: 0480-33-2059

<https://www.zensui.co.jp/zest/>

お問い合わせ受付時間  
土日祝日を除く月～金曜日  
午前9:00～12:00 午後1:00～5:00

202107

## PROTEIN SKIMMER

■ Genesis DC500

■ Genesis DC900

■ Genesis DC1500



User's guide Ver 1.00

## はじめに

この度は、ZEST プロテインスキマーをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。ZEST はゼンスイ株式会社のコンセプトラインです。デザイン・カラー・クオリティなど多くの試作・テストを行い製作されています。ZEST 製品をご使用いただき楽しいアクアライフにお役立てください。誤った使用方法は、火災や感電、故障などの原因となりますのでご使用前にこの取扱説明書を必ず最後までお読みください。ご不明点は販売店又は弊社までお問合せください。

## 安全にお使いいただくために

## 警告 ⚠ ⚡

- 濡れた手で電源プラグやコンセントは触らないでください。感電の原因になります。
- 水槽内に手を入れる時、セットする時、点検、掃除をする時、地震の時などは電源プラグを抜いてください。
- コンセント部分の水に浸かった場合は感電、火災の原因となります。真水で海水をよくふき取り、しっかりと乾燥させてからご使用ください。心配な場合は販売店にご相談ください。
- 電源プラグは根元まで差し込んでください。感電・トラッキング・火災の原因になります。
- 電源コードを引っ張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、無理に曲げたりしないでください。
- 感電や火事の原因になります。本製品を分解や改造はしないでください。
- 屋内の観賞魚用水槽以外には使用しないでください。屋外での使用、それ以外の目的の使用はできません。
- コンセントやプラグは、ほこりや水、塩分が付いていないか定期的に点検し掃除してください。

## 注意 ⚠

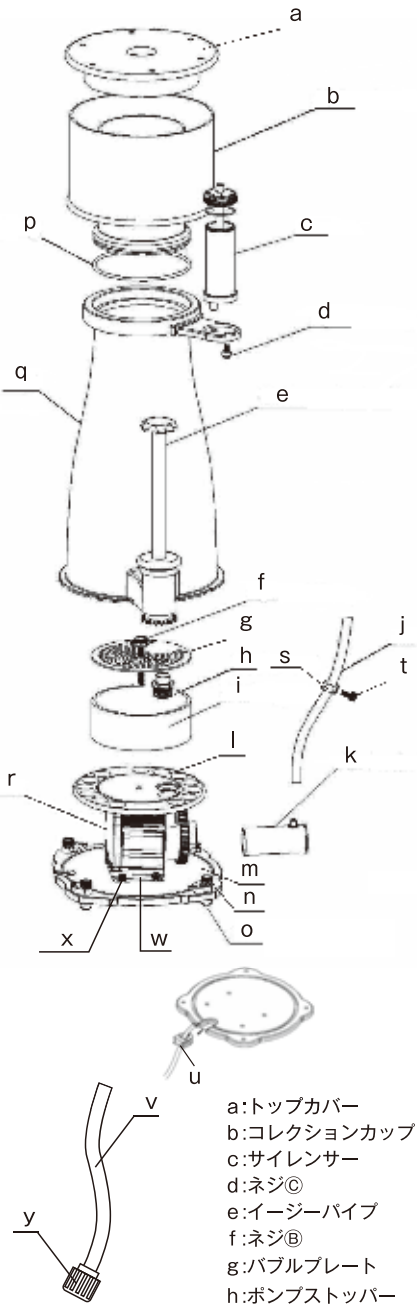


たるみを設ける

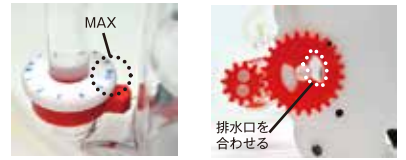
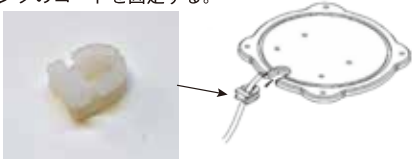
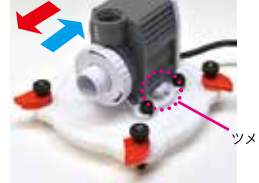
- 正しい電源電圧で使用してください。本製品は 100V50/60hz 共通です。
- 水槽より高く、離れた位置にあるコンセントをご使用ください。
- 止むを得ず、水槽より低い位置にあるコンセントを使用する際には、コードにたるみを設けてください。水槽からケーブルを伝わって飼育水が流れるのを防止します。
- 湿気の多い場所や、高温になる場所にはセットしないでください。火事、故障の原因になります。
- 密閉された、通風性、換気性の悪い場所での使用は避けてください。故障、発火の恐れがあります。

■各部の名称と組み立て

ZEST プロテインスキマーは簡単に設置ができるように半完成済みの状態で出荷しています。



- ① (n)ネジ③を緩めて(q)ボディを取り外す。  
※(n)ネジ③を緩めすぎると(o)ゴム足が取れますのでご注意ください。
- ② (r)ポンプを取り付ける。→の方向へスライドさせる。取外す場合は、ツメを押しながら←の方向に(r)ポンプをスライドさせる。  
※(r)ポンプは全て稼働テストを行なっております。少し水が残っている場合がございますが、ご使用には問題ございません。
- ③ (r)ポンプのコードを固定する。
- ④ (h)ポンプストッパーを(l)バブルカットプレートと(r)ポンプに取り付ける。(l)バブルカットプレートは(r)ポンプが中央にくるように固定する。(g)バブルプレートと(i)バブルプレートボディをセットし、(f)ネジ②で固定する。
- ⑤ (e)イージーパイプをMAXに合わせ、(m)ベースプレートの排水口がMAXに開く位置に合わせる。(m)ベースプレートに、(q)スキマーボディを取り付け、(n)ネジ③で固定する。
- ⑥ (k)エアインテークを(q)スキマーボディに取り付ける。
- ⑦ (c)サイレンサーを(d)ネジ①を使い(q)スキマーボディに取り付ける。(k)エアインテークと(j)エアチューブも取り付け。
- ⑧ (b)コレクションカップを(q)スキマーボディに取り付ける。



■設置環境

本製品は、ろ過槽内で使用する内部式専用モデルです。ろ過槽外では配管で接続してもご使用いただくことはできません。ご注意ください。

■設置環境と調整 (濾過槽内水位)

水位目安

機種	床からの水位目安
DC500	20~25cm
DC900	25~27cm
DC1500	25~27cm



ポンプボディ上部より、水位が低くならないように注意してください。ろ過槽の水位によりコレクションカップに取れる汚れが変わりますが、ろ過槽の水位は簡単に調整できないので、イージーパイプで調整してください。  
設置・調整方法がベストな場合は右のような色のゴミが取れます。

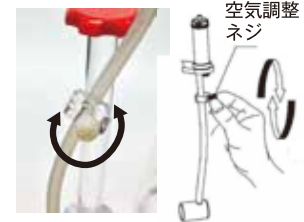


イージーパイプでの調整



イージーパイプを左右に回転させることで、排水口の開口率が変化します。排水口が閉じると、スキマー内の水は上昇してカップから溢れてしまいます。適度な位置をイージーパイプを調整して見つけてください。設置した当初は汚れが少なくゴミの取れる量が安定しないので、約1週間程度は不安定な状態になります。様子を見ながら調整してください。

空気取り込み量の調整



空気調整ネジを開閉させることで、空気の取り込み量が変化します。空気の量を多くするとスキマー内の水は上昇します。  
※ネジを強く閉めすぎないでください。空気がポンプに取り込めず、スキミング効果が少なくなります。

■メンテナンス

カップの掃除



日々のメンテナンスは、スキマーカップ内側の汚れとカップに溜まった汚水を処理してください。カップの着脱は、写真のようにカップを持ち上げることで着脱が可能です。カップにはOリングが埋め込まれています。Oリングが硬く取り付けが困難な場合は、少し水で湿らすか、シリコングリスなどを少量塗ってください。

ポンプの掃除



一般的にインペラやポンプの掃除は2~3ヶ月に1回程度で十分です。ただし、スキマー内の空気量が減っていると感じた時や異音が聞こえる場合は直ちにポンプのカバーをはずしてインペラの点検を行ってください。

標準使用例



別ボトルでの使用例



便利なパーツ

一般使用では写真のようにコレクションカップに汚水を貯める為にドレインチューブとキャップを使用します。別の容器に汚水を貯める際は、キャップを外してドレインチューブを容器に継いでください。※ドレインチューブはお好みの長さに切ってご使用ください。注意:必要以上に汚水が溜まると水槽・ろ過槽の水がペットボトルなどから溢れ、重大な事故が発生することがあります。別の容器に汚水を貯める場合は、万一の事態を想定して設置場所などを考慮してください。